

本時のねらい

ブラウン先生の弟におすすめの日本語の本を紹介するために、本の情報やおすすめの理由について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書き、スピーチを行う。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレットを活用して、自己評価を行う。
- ・タブレットとモニターを用いて、授業の流れを可視化する。
- ・録音機能を利用して、発音のセルフチェックを行う。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ タブレット PC ・学習支援ソフト（ロイロノート） ・マイク付きヘッドフォン ・大型 TV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (3分)	<p>本時のめあて『おすすめの本を英語でスピーチできるようになる』の提示、流れ（Speaking の練習、Speaking テストの時間配分、自己評価）の説明 本時の活動を行う際の注意点についての提示</p> <p>・スピーキングの練習をするときはマイク付きヘッドフォンを使う。</p>	<p>・めあてや流れ、本時の注意点について、大型テレビに表示する。 ・動画の保存し忘れについて注意する。</p>
展開 (37分)	<p>・Speaking の練習 →ロイロノートにおすすめの本を紹介するメッセージを作成する。メッセージをタブレットで録音する。発音の向上に向け、録音した音声を自分で聞く。</p> <p>・Speaking 動画の作成 →ロイロノートで作成したメッセージ文も班員に見せながら、質疑応答を行う。 →ロイロノートの動画撮影機能を使って、班員に自分のスピーチを録画してもらい、提出用の動画を作成する。</p>	<p>・マイク付きヘッドフォンを用いて、自分一人で録音、チェックを行う。</p> <p>・生徒用端末で発表者の録画を行う。 →録画の際には、発表者の端末を用いて撮影を行う。 →音声が入りやすいように、マイク付きヘッドフォンを使ってスピーチを行う。</p> <p>・生徒は自分の動画の確認を行う。</p>
まとめ (10分)	<p>・ロイロノートを使って、事前に配付した評価シートで振り返りを行う。授業者に自己評価した評価シート、録画したスピーチ、作成したメッセージ文を 1 つのスライドにして提出する。</p>	<p>・大型テレビを使って、教員用 PC とスクリーンで活動内容を見せながら分かりやすく説明する。</p>

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : 録音してセルフチェックを行う様子



写真 2 : 動画を撮りながら発表する場面



写真 3 : メッセージを最終確認しながら練習する場面

児童生徒の反応や変容

- ・生徒はインターネット等を活用して、自分の紹介したい本について調べたり、分からない語句について調べたりした。また、翻訳機能に頼るだけでなく、自分の知識を活用したりする姿が見受けられるようになった。生徒の中には、教員の音読を録音し、それをを用いてシャドーイングするなど、Speaking 力向上に向けて取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生徒は意欲的に進んで取り組んでいた。ゴールを明確にし、活動例まで生徒に示すことによって、生徒は必要に応じて確認作業を行う姿も見られた。一度の活動だけでなく、何度も繰り返し行うことで、情報の選択や調べ方等の技能も向上してきた。